

1 コウボク

2 生薬の性状の項を次のように改める.

3 生薬の性状 本品は板状又は半管状の皮片で、厚さ2～7 mm
4 である。外面は灰白色～灰褐色を呈し、粗雑であるが、とき
5 にコルク層が剥離され赤褐色を呈することもある。内面は淡
6 褐色～暗紫褐色、折面は極めて繊維性で淡赤褐色～紫褐色を
7 呈する。
8 本品は弱においがあり、味は苦い。
9 本品の横切片を鏡検(5.0I)するとき、コルク層は厚いか
10 又は薄いコルク層が繰り返して出現する。コルク層に内接し
11 て、ほぼ等径性の石細胞が環状に認められる。一次皮部は狭
12 く、内しょう部には繊維群が点在する。二次皮部の放射組織
13 間には師部繊維群が師部と交互に並び、格子状を呈する。油
14 細胞が一次皮部及び二次皮部に散在し、狭い放射組織内にも
15 認められることがある。